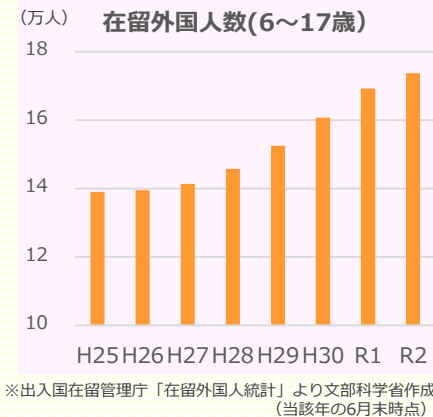




背景

- 我が国に在留する外国人の子供の数は増加しており、外国人の子供に対する教育環境の整備の重要性は高まっている。外国人の子供の中にはいわゆる外国人学校に通っている者もあり、外国人学校の多くは各種学校又は認可外施設である。
- こうした外国人学校の保健衛生環境については、一条校と異なり、保健衛生に係る学校向けの基準は適用されていない。新型コロナウイルス感染症に関しても、現に外国人学校でも感染者やクラスターが発生している。在留外国人コミュニティにおける新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な問題となり、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策分科会や政策文書においてもその対策の重要性が指摘されている。
- 上記を踏まえ、令和3年6月から外国人学校における保健衛生環境に係る有識者会議を開催し、8月の中間とりまとめにおいて(1)外国人学校の把握に関する課題 (2)対策を講じる際に生ずる課題(適切な情報の入手等) (3)支援体制に関する課題(地方自治体や支援団体との連携等)の3つの課題を抽出した。これらの課題を解決するため、以下の2つの事業を通じ、保健衛生環境の整備を図る。



事業概要

① 外国人学校プラットフォーム事業 30百万円

概要：外国人学校の中には、広域から子供を受入れている等の理由により、**地方自治体を超えた広域的な支援を必要とする外国人学校も存在**する。こうした学校における保健衛生対策を促進するため、**保健衛生に係る相談機能と情報発信機能を併せ持つ全国的な窓口**を設置する。

事業内容(例)：

- 外国人学校における保健衛生環境の確保に係る**相談窓口**の設置
- 外国人学校向けメールマガジンの発行・ホームページやSNS等を通じた**情報発信**
- 上記の運営に必要な**多言語対応職員**の配置、資料の**多言語翻訳**の実施
- 認可外施設を含む外国人学校の**全国的・体系的な把握**等

実施主体：上記取組について効果的に実施できる民間団体等を公募で選定

② 地域における外国人学校の保健衛生の確保に係る調査研究事業 80百万円

概要：外国人学校の保健衛生環境の改善のため、**地方自治体が主体となり認可外施設も含む外国人学校の保健衛生環境の実態を把握**し、外国人学校の実情に即した支援を行うために**講じるべき対策について調査研究を行う**。

事業内容(例)：

- 地域内の外国人学校における保健衛生環境の**実態の把握**
- 地域内の外国人学校の実情に即した、**保健衛生環境の向上**に資する取組についての**調査研究**
(例)外国人学校の教職員向けの**研修会**の開催
外国人学校の生徒を対象とした**健康診断**の実施
地域の外国人コミュニティを通じた**情報発信** これら取組の成果検証・課題整理等

実施主体：都道府県、市区町村 採択件数：4自治体(20百万円/件)

事業スキーム(案)



期待される成果

- ◆情報発信等を通じた外国人学校の**実態把握を促進**
 - ◆相談対応を通じて保健衛生環境の改善のための**ノウハウを蓄積**
 - ◆自治体と外国人学校の連携を通じて**保健衛生対策のモデルケースを複数創出**
 - ◆**モデルケースの全国展開**により外国人学校の保健衛生環境を整備
- ⇒外国人学校の保健衛生環境を向上し、外国人の子供の健康を確保

関連政策文書

成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 4.(4)ii 高度外国人材の受入促進
外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(令和3年6月15日 関係閣僚会議決定)《施策番号128》